

2026年6月23日

YACかわら版725

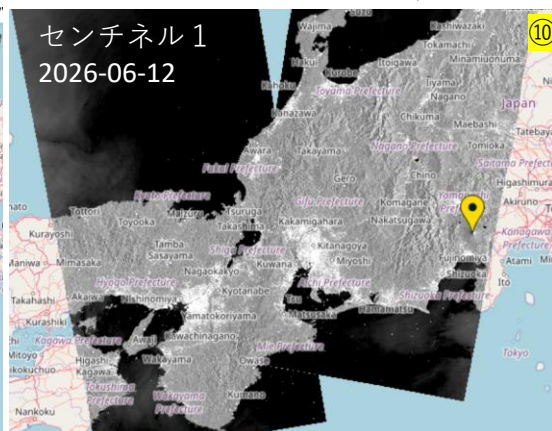
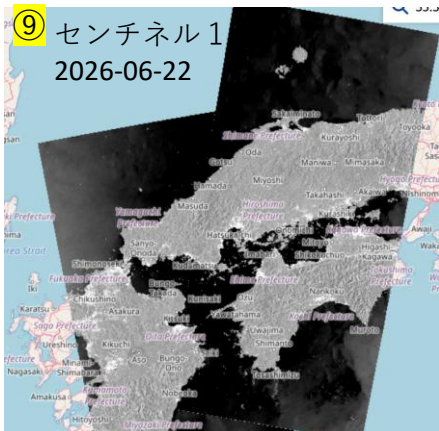
センチネル1

センチネル1

2026-06-19

富士山にマーク📍を置き、東海地方をセンチネル1データで調べようと思いました。観測範囲を広げて縮尺を50kmにすると、「おや」と思いました。帯のように連なる観測場所が「V」字型になっています。①南下しながらの観測と北上しながらの1日に2回観測したのかと考えながら、観測したデータをくわしく調べることにしました。②→③とタップして「まあ」と感心しました。7つの観測データが表示されます。

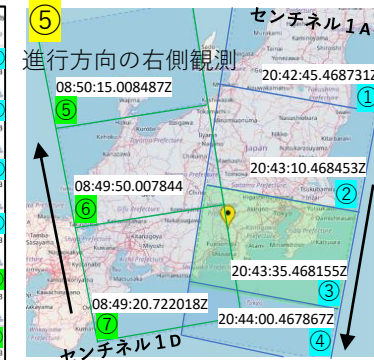
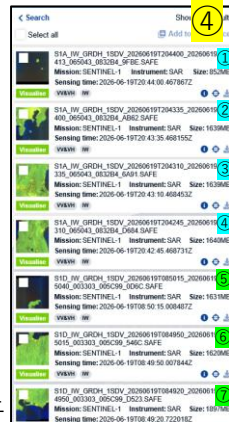
②の場合S1A_IW（センチネル1A.....Sensing time（観測時刻）:2026-06-19T20:43:35.468155Z（世界標準時）7つの観測データの観測衛星名と観測時刻をコペルニクスブラウザの表示画面のコピーに書き込みました。「ふーん」6月19日（UTC）は、下降と上昇の2回観測しています。④⑤



センチネル1は合成開口SAR衛星です。進行方向の右側斜め下に電波を照射しながら移動します。地表からの反射を受信します。⑪観測したデータと衛星の地上軌跡を照合すると観測のイメージが浮かび上がってきます。⑤⑥⑦センチネル1の観測では、同一日に2回観測している事例もあります。最近の例を示します。⑨⑩センチネル1は、4基打上られ、現在3基体制で運用中です。⑫コペルニクスブラウザで上昇と下降の観測が重なっている場所はどのように表示しているのでしょ

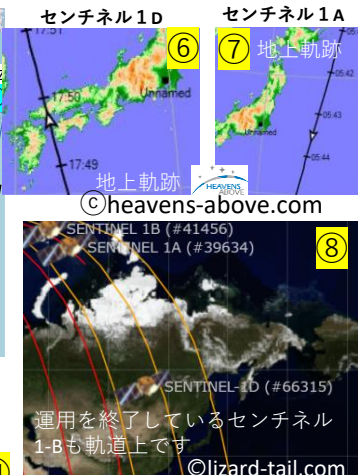
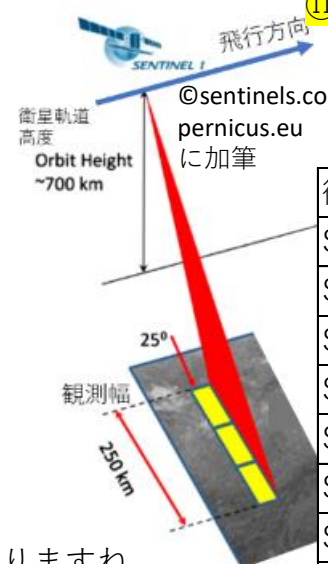
うか、気になりますね。富士山周辺の観測はどのように表現されているのでしょうか。⑬「考える翼」をつかってみませんか。⑫

衛星	衛星番号	打上年月日	備考
センチネル1A	39634	2014年4月3日	
センチネル1B	41456	2016年4月25日	運用終了
センチネル1C	62261	2024年12月5日	
センチネル1D	66315	2025年11月4日	



進行方向の右側観測

センチネル1観測イメージ



運用を終了しているセンチネル1-Bも軌道上です
2026年6月23日19:00
センチネル1の衛星位置

富士山観測日

衛星	観測時刻
S1C	2026-05-20T08:40
S1D	2026-05-21T08:41
S1C	2026-05-25T08:49
S1D	2026-05-26T08:49
S1A	2026-05-26T20:43
S1A	2026-05-31T20:51
S1C	2026-06-01T08:40
S1D	2026-06-02T08:41
S1C	2026-06-06T08:49
S1D	2026-06-07T08:49
S1A	2026-06-07T20:43
S1A	2026-06-12T20:51
S1D	2026-06-14T08:41
S1D	2026-06-19T08:49
S1A	2026-06-19T20:43